

令和5年度 日本進路指導協会賞 受賞者

表彰 第71回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会で、賞状並びに副賞10万円を贈呈する。

受賞者 株式会社 ケイオーパートナーズ

研究・実践のテーマ 「沖縄県における産学官連携によるキャリア教育推進と継続的な追跡調査の実施」

主な内容

同社は沖縄県の展開する県民運動「みんなでグッジョブ運動」に設立当初から関わり、2012(平成24)年には「グッジョブ連携推進事業」として11地域で同事業をスタートし、2020(令和4)年度には26地区に拡大させた。同事業には、「沖縄型ジョブシャドウイング事業」と「未来の産業人材育成事業」が含まれ、小学校、中学校、高等学校を対象とする多彩なキャリア教育の企画・運営を実施している。

2019(平成31)年度からは、これまで推進した「グッジョブ連携推進事業」の効果検証を行うために追跡調査に着手し、「北中城村グッジョブ連携推進事業追跡調査に関する検討会議」を立ち上げた。その他、久米島町、多良間町でも同様に追跡調査事業を開始した。

北中城村では2020(令和2)年度に第1回調査を開始し、第2回目の2021(令和3)年度の調査においては第1回目調査から継続し、2つの小学校対象に2019(平成31)年度に卒業した198名の卒業生に対して調査を実施、142名(71.7%)の回答を得た。またヒアリング調査への協力者も11名を得てオンラインでの面接調査を実施している。「グッジョブ連携推進事業」の成果と合わせ追跡調査のデータを量的及び質的な分析を行ない『令和3年度中城村グッジョブ連携推進事業実施報告書』を作成した。他地区においても同様に報告書を作成している。

調査対象者の進路感や地元への意識、小学校、中学校そして高等学校で受けた「グッジョブ連携推進事業」をはじめとするキャリア教育への率直な感想や成果などを、地域の自治体教育委員会、学校と共有し、今後の地域のキャリア教育の在り方の検討や同社の今後の介入方法の改善などを検討する機会を設けている。調査はそれぞれの児童生徒が成長した時代の風土により影響を受けるため、コホートに調査を継続することで「グッジョブ連携推進事業」におけるキャリア教育の効果を長期的に検討することができる。

地域連携におけるキャリア教育の実践は実施されているが、自治体、学校と連携した組織的、継続的、追跡調査実施例は例がない進路指導の諸活動の追指導の重要性を再認識する価値がある実践である。

「日本進路指導協会賞」の趣旨

「日本進路指導協会賞」は、文部科学省初等中等教育局の進路指導担当初代教科調査官 水谷統夫(日本進路指導協会の理事・常務理事を歴任・平成11年12月ご逝去)のご遺志により、わが国の進路指導の向上・発展のためにご寄付いただき、さらに3回忌の際の追加寄付を基金に設けられたものである。これを受けた協会では、「日本進路指導協会賞に関する規定」を定めるとともに、協力金を拠出し、趣旨に賛同する有志の方々からの寄付金を含めて基金とし、その成果に対して賞金を贈ることとしたものである。

第71回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会

第6回全国小学校キャリア教育研究協議大会

第45回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会

第47回全国高等学校進路指導研究協議大会

大会要項

大会主題

新学習指導要領のもと、進路指導・キャリア教育の一層の充実を目指して

主催 公益財団法人日本進路指導協会

共 催

全国小学校キャリア教育研究協議会

全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会

全国高等学校進路指導協議会

日本キャリア教育学会

後 援

文 部 科 学 省 東京都教育委員会

全国都道府県教育長協議会 全国連合小学校長会

全日本中学校長会 全国高等学校長協会

日本私立中学高等学校連合会

大会概要

◆ 目 的

昨年度、すべての校種で新学習指導要領が実施されました。すでに実施されている小学校・中学校・高等学校と一貫したキャリア教育に踏み出しました。キャリア・パスポートが校種を結ぶ大きな役割を果たすこととなります。

今後の教育改革のねらいは、大きな変化が予想される未来社会を担うこととなる児童生徒の、新たな時代に求められる資質・能力を育むことです。予測不可能な未来社会を生き抜くためには、児童生徒一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を創り出していかなければなりません。そのためのキャリア教育であり、期待はますます高まっています。成熟社会に対応した教育の未来について考える機会にしたいと考えます。

当協会が主催する今大会は、文部科学省等の協力を受け、全国の進路指導・キャリア教育の一層の普及発展を図ることを目的とするものです。

- ◆ **主 題** 新学習指導要領のもと、進路指導・キャリア教育の一層の充実を目指して
- ◆ **主 催** 公益財団法人日本進路指導協会
- ◆ **共 催** 全国小学校キャリア教育研究協議会 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会
全国高等学校進路指導協議会 日本キャリア教育学会
- ◆ **後 援** 文部科学省 東京都教育委員会 全国都道府県教育長協議会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会
日本私立中学高等学校連合会
- ◆ **会 期** 令和5年7月28日(金)～29日(土)の2日間
- ◆ **会 場** 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ◆ **日 程**
 - 第1回 7月28日(金)
 - 9:00～ 受付
 - 9:40～10:10 開会式
 - 10:10～11:30 記念講演
 - 11:30～13:00 (昼食・休憩)
 - 13:00～16:00 分科会・研究協議
 - 第2回 7月29日(土)
 - 9:30～11:50 小中分科会・研究協議／高校分科会・研究協議
 - 11:50～13:00 (昼食・休憩)
 - 13:00～16:00 全体研究協議
 - 16:00～16:10 閉会式

第1日 7月28日(金) 9:40～10:10

【カルチャー棟 小ホール】

開 会 式

進行 全国高等学校進路指導協議会 事務局長
埼玉県立浦和商业高等学校 教諭

福本 剛史

1 開会のことば

全国高等学校進路指導協議会 会長
東京都立上野高等学校 校長

吉田 寿美

2 式 辞

公益財団法人日本進路指導協会 会長

田中 壮一郎

3 祝 辞

文部科学省

文部科学大臣殿

4 功績者表彰

公益財団法人日本進路指導協会賞

(要項 96 ページに記載)

公益財団法人日本進路指導協会会長感謝状

(要項 97 ページに記載)

5 功績者表彰代表謝辞

株式会社ケーオーパートナーズ

6 閉会のことば

日本キャリア教育学会 会長
筑波大学 教授

藤田 晃之

● 事務連絡 公益財団法人日本進路指導協会

記 念 講 演

7月28日(金) 10:10～11:30

【カルチャー棟 小ホール】

演題 「睡眠が拓く、子供の未来」

講師 東京家政大学 准教授

岡島 義 先生

- * 大会本部は、センター棟 404 研修室になります。ご用の方はそちらへお越し下さい。
- * 小ホール内の立ち見は禁じられています。必ず、着席して下さい。
- * 小ホール内の飲食は禁じられています。飲食は2階イートインスペースでお願いします。
- * 小ホールは 12:00 までに撤収、退場することになっています。ご協力、お願いします。
- * 喫煙は、指定された場所以外ではできません。